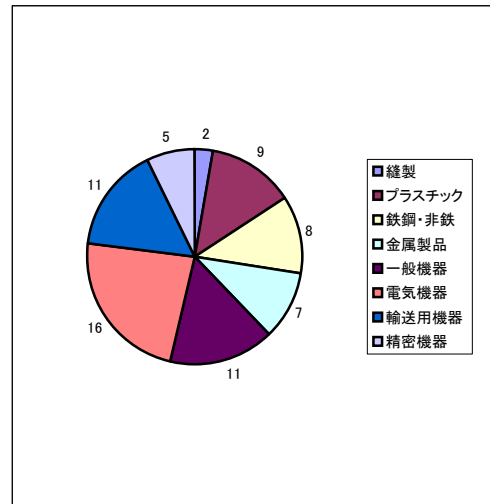


発注動向

-2010.11-

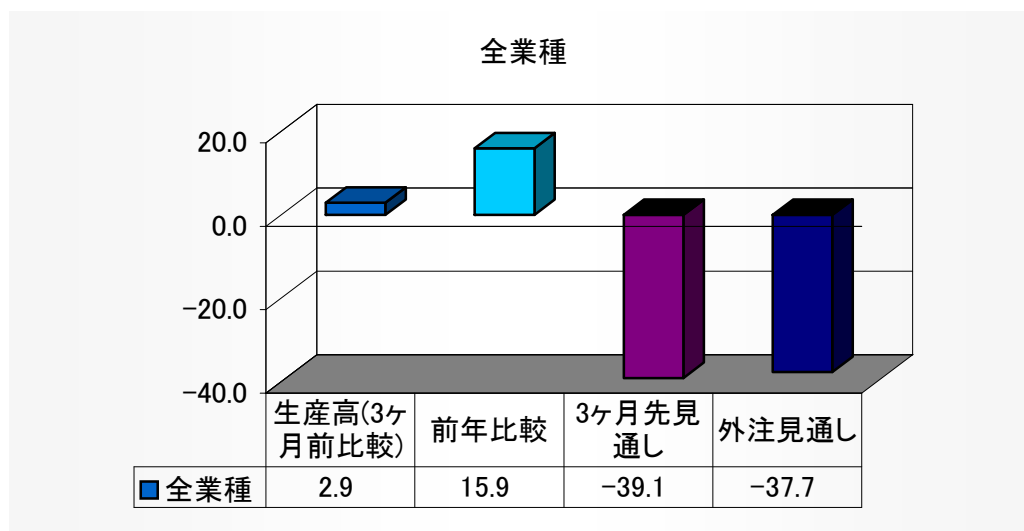
- 調査時点 平成22年10月調査(22年9月末時点)
- 対象企業 150社
- 回答企業 69社(回答率:46%)
(縫製2社、プラスチック9社、鉄鋼・非鉄8社、
金属製品7社、一般機器11社、電気機器16社、
輸送用機器11社、精密機器5社)
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12末時点)

縫製	2	3.1%
プラスチック	9	14.1%
鉄鋼・非鉄	8	12.5%
金属製品	7	10.9%
一般機器	11	17.2%
電気機器	16	25.0%
輸送用機器	11	17.2%
精密機器	5	7.8%



全業種

前回調査結果(6月末時点)に比べ、生産高の3ヶ月前比は+2.9(前回+23.2)でマイナス20.3ポイントと悪化が見られる。また、生産高の前年対比は+15.9(前回+30.4)でマイナス14.5ポイントと同じく悪化が見られる。さらに、生産高の3ヶ月先見通しについては▲39.1(前回+7.2)でマイナス46.3ポイントと大幅な悪化が見られる。外注利用の見通しについても、▲37.7(前回▲7.2)でマイナス30.5ポイントと同様に大幅な悪化が見られる。



■ 生産高

生産高の3ヶ月前比は、前回調査結果(6月末時点)に比べ、「縫製」が+100.0(前回0.0)でプラス100ポイント、「精密機器」が+60.0(前回0.0)でプラス60.0ポイントとなり、大幅な改善が見られる。また、「金属製品」が+42.9(前回+22.2)でプラス20.7ポイントと改善が見られる。一方、「電気機器」が+12.5(前回+30.8)でマイナス18.3ポイントと悪化が見られる。さらには、「輸送用機器」が▲36.4(前回+33.3)でマイナス69.7ポイント、「鉄鋼・非鉄」が▲12.5(前回+30)でマイナス42.5ポイントと大幅な悪化が見られる外、「プラスチック」及び「一般機器」でも大幅な悪化が見られる。

生産高の前年対比は、前回調査結果(6月末時点)に比べ、「縫製」が0.0(前回▲50.0)でプラス50.0ポイントと大幅な改善が見られる。また、「金属製品」が0.0(前回▲11.1)でプラス11.1ポイント、「鉄鋼・非鉄」が+37.5(前回+30.0)でプラス7.5ポイントと改善が見られる。さらに、「精密機器」と「一般機器」は横ばいである。一方、「プラスチック」が▲11.1(前回+12.5)でマイナス23.6ポイントと悪化が見られる。さらに「輸送用機器」が+36.4(前回+83.3)でマイナス46.9ポイント、「電気機器」が0.0(前回+30.8)でマイナス30.8ポイントと大幅な悪化が見られる。

■ 業況3ヶ月先見通し

業況3ヶ月先見通しは、前回調査結果(6月末時点)に比べ、「金属製品」が▲14.3(前回+11.1)でマイナス25.4ポイント、「鉄鋼・非鉄」が▲12.5(前回+10.0)でマイナス22.5ポイント及び「精密機器」が+20.0(前回+40.0)でマイナス20.0ポイントと悪化が見られる。さらに、「輸送用機器」が▲81.8(前回0.0)でマイナス81.8ポイント、「電気機器」が▲56.3(前回+7.7)でマイナス64.0ポイントと大幅な悪化が見られる外、「縫製」、「一般機器」及び「プラスチック」でも大幅な悪化が見られる。

■ 外注見通し

外注見通しは、前回調査結果(6月末時点)に比べ、「縫製」、「金属製品」及び「一般機器」については横ばいか多少の悪化が見られる。一方、「鉄鋼・非鉄」が▲62.5(前回▲10.0)でマイナス52.5ポイント、「電気機器」が▲50.0(前回▲7.7)でマイナス42.3ポイントと大幅な悪化が見られる外、「精密機器」及び「輸送用機器」などでも大幅な悪化が見られる。

